

南三陸地域資源プラットフォーム イメージ

南三陸地域資源プラットフォーム(中間支援機関)

- 目的: 町の一次産業総生産額の回復と持続可能な地域づくりに貢献すること
- 機能: 地域シンクタンク&プラットフォーム機能

<背景>

- FSCやASCに代表される環境認証製品積極採用の動きは世界の潮流になりつつある。
 - ・2012年ロンドンオリンピックでは「持続可能性を考慮した調達」が重要視され、スタジアムの建築材にはFSC材を優先利用、紙製品もFSCなどの環境認証を受けたものの使用が義務付けられる。(リオデジャネイロ大会でも提供される魚介類はMSC認証またはASC認証のもののみとされており、東京大会でもこれらの調達方針が踏襲される見込み)
- 「食の地域ブランド化」による地域振興も国内各地で進められている。
- “南三陸としての価値”をどう地域の経済的発展につなげられるかが課題である。

<機能>

南三陸ブランドの
育成と管理

- 南三陸ブランドを策定するための環境や地域資源そのものの調査研究と可視化の必要性。

地域資源研究

連携?
or
統合?

自然環境
活用
センター